

(様式 2-1, 2-2 はこのまま PDF 化し, 学内限定で公開します)

平成 30 年度三重大学国際交流事業実施報告書 (学内版)

1. 申請部局

学部・研究科名等：大学院・生物資源学研究科

事業担当者の職・氏名：教授・中島千晴

内線電話番号：9638

電子メール：chiharu@bio.mie-u.ac.jp

2. 事業の名称 (20 字以内, 別に副題を付けても良い)

海外における学部専門教育への導きの試み

3. 事業内容の別 (該当するところにチェックを入れてください。)

教職員, 学生の海外派遣 (学会やシンポジウム等の出席は除く)

海外交流機関等からの教職員, 学生の受け入れ

国際教育プログラムの開発や推進

その他

4. 事業の取組結果

以下の事項について記述してください。ページ数は問いません。

(1) 事業概要（簡潔に事業全体の概要がわかるように記述してください）

専門教育が始まる 2-3 年生を対象に、海外にて生物資源学に関する実習を行い、以後の専門教育への導入と国際的環境への対応力を涵養することを目的に事業を計画した。実施場所は、新規部局間交流校であるマレーシアトレンガヌ大学にて 3 週間にわたり、三重大学向けにアレンジされたサマースクールにて、水産実習、語学研修、スクーバ免許講習を実施した。

(2) 事業の背景・これまでの実績

2017 年度に新規交流校となったマレーシアトレンガヌ大学より、水産実習と語学研修、スクーバ免許講習を組み合わせたサマースクールの試行と三重大学学生の参加の呼びかけがあった。教員団が事前に渡航し、宿泊場所や実習場所の視察の後、学部での専門教育が開始される前の 2-3 年生を主たる対象とし、実施することが適切であると判断した。そこで、学内での説明会の実施後、参加者を募集、教員が引率しサマースクールへ参加させた。

(3) 事業実施結果

学部学生 8 名、大学院生 2 名、引率教員のべ 2 名が平成 30 年 8 月 18 日から 9 月 9 日の日程で参加した。

参加学生は水産実習 (1) 淡水魚の交配、(2) 初期飼料としての幼生の育成、(3) 鑑賞淡水魚の飼育と展示；能力別語学研修 (1) マレー語、(2) 英語；文化理解 (1) ネイチャートレックと伝統的知識の紹介；能力別スクーバ免許講習 (1) オープンウォーター、(2) アドバンストに参加した。これらの実施当たってはトレンガヌ大学学生がバディとして日本人学生 2-3 名に対し 1 名が配置された。





(4) 事業の意義

三重大学において専門教育科目として講義を受けてはいるものの、ほとんどの学生が未体験の実習である。この条件下、アジア圏で有数の設備を誇るトレンガヌ大学にて、基本的な実験実習事項について全ての指示が英語という国際的な環境で実施された。これにより、今後の学部教育における実習および研究への学生自身の取り組みに対する動機付けや、自らの研究が海外に繋がっていることを実感させた。

(5) 事業の発展性

本事業が維持されることで日本人学生のためには三大学セミナー・シンポジウムでの発表、キャリア教育科目への認定、トビタテ日本プロジェクトへの応募などが想定され、受け入れ校からは留学生の受け入れや大学院サンドイッチプログラムの開発、外国人研究者招聘による英語による講義などが考えられる。

(6) 中期目標・中期計画における位置づけ

中期目標 I

1 教育に関する目標

(1) 2, 3

4 (1) グローバル化に関する目標

中期計画 I

1 教育内容及び教育の成果等に関する目標を達成するための措置

4 (1) グローバル化に関する目標

(7) その他

平成 30 年度三重大学国際交流事業実施報告書（一般公開：日本語版）

学部 2-3 年生において開始される専門教育を充実したものとするために、交流校であるマレーシア・トレンガヌ大学にて 3 週間にわたり、水産学の実習を行いました。全ての実習の指示や議論は、英語で行われました。内容は魚類を用いた交配・増殖実習、養殖初期に用いられる甲殻類の幼生の育成と給餌、英語とマレー語の理解度別語学研修、マレー文化とマレー半島の自然への理解を深めるためのネイチャートレックと伝統的知識の学習、今後の大学での研究生活で必要となってくるスクーバダイビングのための免許講習を実施しました。英語や実習に不慣れな学生をサポートするためにマレーシア・トレンガヌ大学の学生が 2-3 名に 1 名が配置されていて、交流を深めました

平成 30 年度三重大学国際交流事業実施報告書（一般公開：英語版）

The Summer Course for 2nd - 3rd grade students before the starting the specialized education in the undergraduate school were held in Universiti Malaysia Terengganu (UMT), for 3 weeks in 2019. Students joined the hands-on workshop for the fish culture, Scuba diving for the open-water and advanced divers license, nature trail, intercultural communication and language classes based on the level of understanding for Malay and English. All classes were carried out in English. For more understanding by Japanese students, the buddies or student tutors from UMT were supporting to Japanese students.